

竹林に秘められた可能性



福岡県立京都高等学校 白木原 花菜・岸本 新葉・白川 帆乃佳・迎 藍 班

1.はじめに



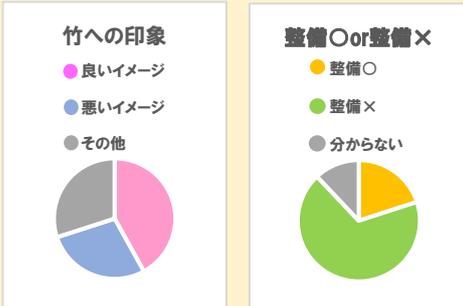
現在、福岡県では**竹林の放置**が目立つようになり、大きな問題となっている。一方で、京都の嵐山のように観光地として注目されている竹林が多くの人々を魅了している。このように竹林ではプラスの面も、マイナスの面も持ち合わせている。マイナスの面ではこれだけに限らず、**竹林への悪いイメージ**が広がっている。そこで私たちは、何とかして竹林をプラスの面で役立たせる方法はないのか、また、竹林の持つ機能をより生かすことで、**安心して住み続けられる里山にできるのではない**かという仮説を立てた。

2.方法

- 竹に関する文献調査
- フィールドワーク
 - 合馬竹林公園
 - 行橋農林所
 - プトラ大学 in マレーシア
- 竹に関する意識調査

3.結果・考察

ア.竹に関する意識調査



ウ.解決策①

放置竹林を「食べて」解決

◆**穂先タケノコ**紹介するポスター◆
現在多くの輸入に頼っているメンマを穂先タケノコで代用することのメリットを伝える。

◆**地元のラーメン屋などの企業と連携**◆
穂先タケノコをメンマとして取り入れてもらう。ポイントカードキャンペーンで、多くの人に竹を身近に感じてもらう。放置竹林問題に対して関心をもってもらう。将来は京築の特産品に！
放置竹林拡大防止+意識改革！！！！

オ.解決策②

【モリビトの野菜プロジェクト】



イ.提案

【森里海・竹林サイクル】



- 竹の侵入を防ぎ、林内に光が入り生物多様性が保たれる
- 動物が作物を荒らす被害が減少する
- 竹の有効活用による有機農業を行う
- 地産地消となる
- 竹でできた漁業用道具を提供する
- 小さな生物やミネラルを提供し、よい漁場を作る
- 新鮮な魚を出荷できる
- 綺麗な水や様々な生物多様性の自然の恵みを提供する

このように竹林を整備することで**世界がよりよく循環する。**



エ.海外での調査

プトラ大学でのバイオマステクノロジーコンプレックスの講演会



必要になったものを捨てるのではなく、**有効利用**をすることで利益を得るという農業を用いた経済法！

カ.みやこ農園



今、愛知県美浜町で、「モリビトの野菜」プロジェクトが行われている。そこで、私たちは、**このプロジェクトを推進しよう**と考えた。

インタビュー調査
行橋農林事務所によるフィールドワークで明らかになった竹林の現状は、管理者が少なく、竹林が**放置**されたままの状態になっているということだ。また仮に、竹林を伐採されたとしてもその後の竹の行き場がない。

【全国竹チップ有機農業計画】

前述した効率の良いサイクルにするには、まず、②の竹炭化ではなく、**竹チップに統一**することだ。

竹チップの利点
殺菌効果や**防虫効果**が非常に優れており、農作物が害虫に食べられることなく安全に育つことができる。また、粉砕機さえあれば直接農園にまける。だから、少ない人手で実施可能である。その**粉砕機**は竹林整備にあてられた資金の中で購入できる。

プロジェクトの全国化
そして、この計画を、市町村単位ではなく、**全国で実施**することができれば広い範囲で竹林整備と有機農業が行われ、全国での放置竹林問題の解決に前進すると考える。

竹林に関連した持続可能な農業で安心して住み続けられる里山に！！！！

4.今後の課題

- 課題 解決策②の竹チップを使った農業のスタイルを取り入れてくれる農家はあるのか。
- これらの計画の認知度を高めるためにはどうすればよいのか。
- 森里海・竹林サイクルの他の矢印の具体的な活動について調べていく。